

赤平市の子どもたちの学力・生活習慣の向上に向けて

～平成 26 年度全国学力・学習状況調査の結果報告～

平成 26 年 12 月
赤平市教育委員会

本年 4 月、小学校 6 年生及び中学校 3 年生を対象に行われた「全国学力・学習状況調査」の結果概要をお伝えします。赤平市教育委員会では、この調査結果から、市内の児童・生徒の生活面・学習面の傾向をとらえ、8 月に示した施策の一層の充実に役立てます。地域ならびに保護者の皆様には、ご家庭での生活習慣及び家庭学習の充実に向け、学校と連携したご協力をお願いいたします。

なお、この調査は学力の一部をはかるものであり、学力の全てをはかるものでないことをご理解ください。

1. 学力学習状況調査の結果

全国学力・学習状況調査について

A 問題とは 主として「知識」に関する問題（身につけておくべき基礎的な知識や技能）

B 問題とは 主として「活用」に関する問題（知識や技能を実生活の場に活用する能力）

(1) 赤平市の小学校

① 全体の傾向

国語 A 正答率の低い児童が多い。 **国語 B** 正答率のかなり低い児童が多い。

算数 A 正答率の低い児童が多い。 **算数 B** 正答率のかなり低い児童が多い。

② 強み と 弱み

国語 A

○漢字を読むことが概ねできる。

○五十歩百歩などの故事成語の使い方が概ね理解できる。

▲漢字を書くことができない。

▲情景描写を正しく理解することができない。

▲物語の登場人物の相互関係を捉えながら読むことができない。

▲国語辞典を使って、言葉の意味と使い方を理解することができない。

国語 B

◎詩の表現の工夫や解釈を捉えながら読むことができる。

▲立場を明確にして、質問や意見を述べることができない。

▲分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関連付けながらまとめて書くことができない。

▲課題を解決するために、目次や索引を活用して本を効果的に読むことができない。

算数A

○ 903×6 を計算することが概ねできる。

○異分母の分数のたし算を計算することが概ねできる。

○立体図形とその見取図の辺や面のつながりや位置関係の理解が概ねできる。

○二つの数量の関係を口、△などの記号を用いて表すことが概ねできる。

▲割合に関する文章問題ができない。

▲分数の大小の比較ができない。

▲単位量当たりの大きさの求め方を理解できない。

▲作図に用いられている図形の約束や性質を理解することができない。

算数B

○示された情報を解釈してその内容を表している図を選択することが概ねできる。

▲ 37×24 の積が 888 になることを説明できない。

▲棒グラフの性質を理解し表し方を説明することができない。

▲量を相対的にとらえ比較することができない。

▲示された情報をもとに数学的に考え判断することができない。

(2) 赤平市の中学校

① 全体の傾向

国語A 正答率の低い生徒が多い。

国語B 正答率のかなり低い生徒が多い。

数学A 正答率のかなり低い生徒が多い。

数学B 正答率のかなり低い生徒が多い。

② 強み と 弱み

国語A

◎資料を効果的に活用して話すことができる。

◎語句が示すものや意味について理解することができる。

◎文脈に即して漢字を正しく読むことができる。

○登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解することが概ねできる。

▲文脈に即して漢字を書くことができない。

▲辞書を活用して、語句の意味を適切に書くことができない。

▲材料を集めながら考えをまとめたり、意見を交換し文章を書きなおしたりすることができない。

国語B

- ◎本や文章から、目的に応じて必要な情報を読み取ることができる。
- ▲文章に表れているものの見方について、自分の考えを持つことができない。
- ▲文章の構成や表現の仕方等について、根拠を明確にして自分の考えを書くことができない。
- ▲複数の資料を比較して要旨を捉えたり、情報を読み取ったりすることができない。

数学A

- ◎対称軸が与えられたときに、線対称な図形を完成することができる。
- ◎図形の回転移動について、移動前と移動後の2つの図形の辺や角の対応を読み取ることができる。
- ◎一次関数の変化の割合を理解している。
- 平面図計をその面と垂直な方向に平行移動させたときにできる空間図形の構成が概ねできる。
- 与えられた二つの式をもとに、事象における二つの数量の関係が比例であることを判断することが概ねできる。
- ▲指数を含む正と負の数の計算ができない。
- ▲絶対値の意味を理解していない。
- ▲指数を含む文字に数を代入して、式の値を求めることができない。
- ▲簡単な連立二元一次方程式を解くことができない。
- ▲線分の垂直二等分線の作図の方法について理解していない。
- ▲空間における直線と平面の平行について理解していない。
- ▲円錐の展開図や体積の求め方を理解していない。
- ▲三角形の外角とそれと隣り合わない2つの内角の和の関係を理解していない。
- ▲反比例について、グラフと表を関連付けて理解することができない。
- ▲樹形図などを利用して、確率を求めることができない。

数学B

- ◎日常的な事象を表した図をもとに、空間における位置に関する情報を読み取ることができる。
- ▲事象の結果やグラフの特徴を数学的に解釈し、問題解決方法を説明することができない。
- ▲樹形図を利用した情報を分類整理することができない。

(3) 児童質問紙による赤平市の小学生の生活調査結果(全国の結果との比較)

◎やや高い項目

- ・今住んでいる地域の行事に積極的に参加している。
- ・家で、学校の授業の復習や予習をしている。

○同じ程度の項目

- ・難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。
- ・家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に参加する。
- ・家で、自分で計画をたてて勉強をしている。
- ・家で、学校の宿題をしている。
- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある。
- ・友達と話し合う時、友達の話や意見を最後まで聞くことができる。
- ・将来の夢や目標を持っている。
- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げ、嬉しかったことがある。
- ・先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う。
- ・学校のきまりを守っている。
- ・地域や社会で起きている問題や出来事に関心がある。

△やや低い項目

- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
- ・毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- ・朝食を毎日食べている。
- ・友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意だ。
- ・友達に伝えたいことをうまく伝えることができる。
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る。
- ・友達との約束を守っている。
- ・人の気持ちがわかる人間になりたいと思う。
- ・人の役に立つ人間になりたいと思う。
- ・学校に行くのは楽しい。
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝ている。
- ・地域や社会をよりよくするために何をすべきかを考えることがある。
- ・新聞を読んでいる。



▲低い項目

- ・家の人と学校の出来事について話をする。
- ・自分には、よいところがある。
- ・読書が好き。



(4) 生徒質問紙による赤平市の中学生の生活調査結果(全国の結果との比較)

◎やや高い項目

- ・今住んでいる地域の行事に積極的に参加している。
- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。

○同じ程度の項目

- ・毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- ・難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。
- ・家の人、授業参観や運動会などの学校行事に参加する。
- ・家で、自分で計画を立てて勉強をしている。
- ・学校の規則を守っている。
- ・友達との約束を守っている。
- ・人の気持ちがわかる人間になりたいと思う。

△やや低い項目

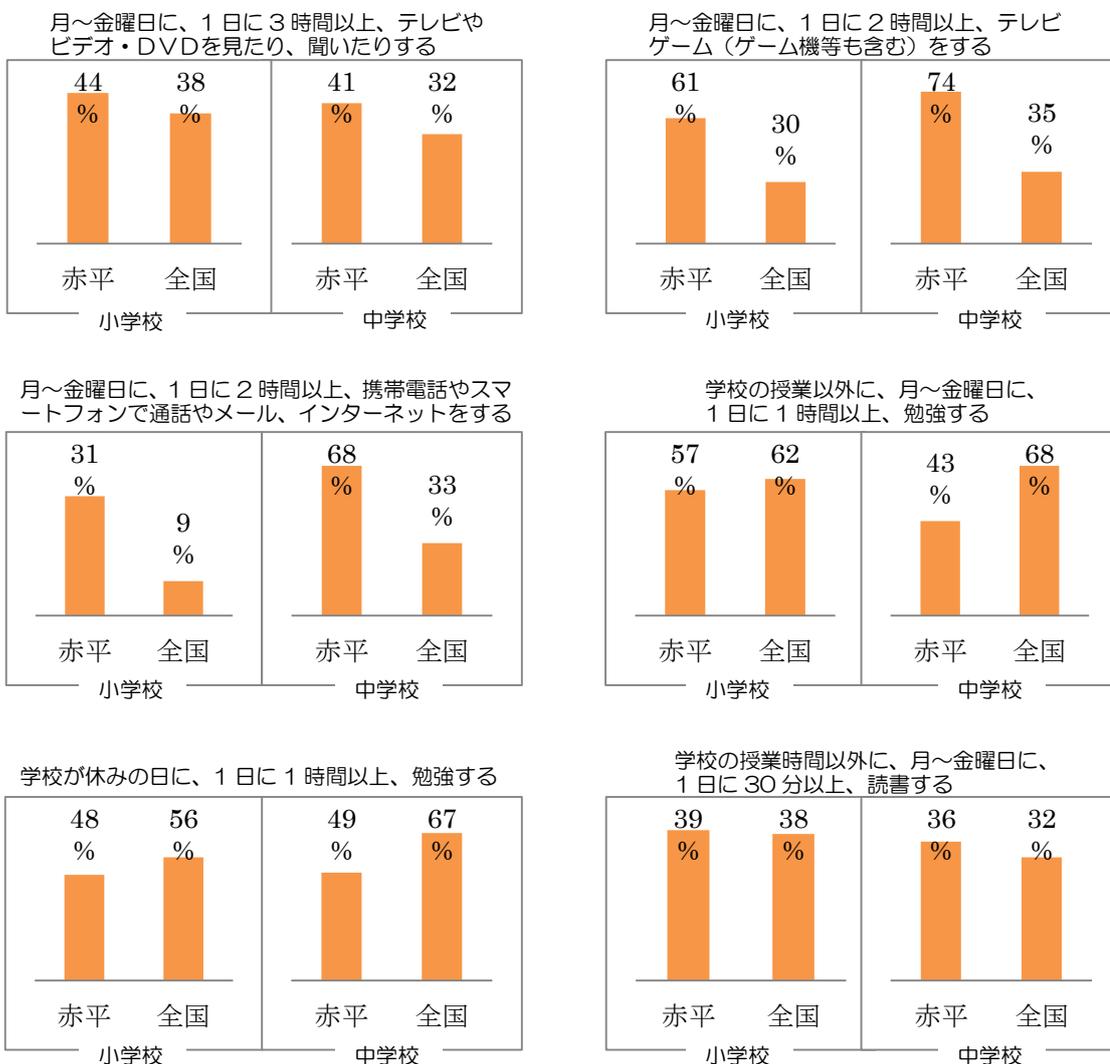
- ・朝食を毎日食べている。
- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある。
- ・友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意だ。
- ・友達に伝えたいことをうまく伝えることができる。
- ・友達と話し合う時、友達の話や意見を最後まで聞くことができる。
- ・将来の夢や目標を持っている。
- ・家で、学校の授業の復習や予習をしている。
- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げ、嬉しかったことがある。
- ・先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う。
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る。
- ・人の役に立つ人間になりたいと思う。
- ・新聞を読んでいる。
- ・読書が好き。

▲低い項目

- ・家の人と学校の出来事について話をする。
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝ている。
- ・家で、学校の宿題をしている。
- ・学校に行くのは楽しい。
- ・地域や社会で起きている問題や出来事に関心がある。
- ・地域や社会をよりよくするために何をすべきかを考えることがある。
- ・自分には、よいところがある。



(5) 児童・生徒質問紙による赤平市の小中学生のテレビ・ゲーム・インターネットの時間及び家庭学習・読書の時間調査結果(全国の結果との比較)



※以下の基準で記述しました。

【学力】

全体の傾向

- やや低い 全国比 -5% ~ 0%以下
- 低い 全国比 -10% ~ -5%以下
- かなり低い 全国比 -10%以下

強みと弱み

- ◎ できている(できる) 全国比 +
- 概ねできている(概ねできる) 全国比 -3%~0以下
- ▲ できていない(できない、理解していない) 全国比 -10%以下

【児童・生徒質問紙】

- ◎ やや高い項目 全国比 +5%~
- 同程度 全国比 -3%~+5%以下
- △ やや低い項目 全国比 -10%~-3%以下
- ▲ 低い項目 全国比 -20%~-10%以下



2. 家庭地域へのお願い

◎家庭学習の大切さについて、各小中学校で指導を行っています。

学校で学んだことを確実に身につけるための復習をする時間や、これから学ぶことについて予習をする時間を心がけ、勉強する習慣づくりが大切です。



お子様と約束した時間に机に向かい勉強をする声かけや
落ち着いて勉強に集中できる学習環境へのご理解とご協力
をお願いします。



◎規則正しい生活習慣が学力の向上には欠かせません。



テレビやゲームを楽しむ時間を決めること、携帯電話や
スマートフォンでの通話やメールの時間やマナーなど
ご家庭でのルールづくりをお願いします。
(携帯やスマートフォンは子供のものではなく、親のものです)



赤平市教育委員会はこの結果を踏まえ
今後も学校・保護者・地域との連携をより一層深め、
学力向上および生活習慣の向上に向けた
施策の具現化に向けて取り組みます。